

Ngerusar Ngaraklasekl Men's Association

## ゲルサー・ガラクラセックル男子協会

代表  
ヴィンス・ブライヨック

## 主な活動内容

- コミュニティのサポート
- ディアングル(伝統的カヌーハウス)の建設
- マングローブの管理
- 史跡の復元
- ロックアイランドの整備
- 海岸の清掃



## 設立背景

アイライ州ゲルサー地域の男性により100年以上前に発足。後にNGOとなる。団体名の「ngaraklasekl」はパラオ語で「左利き」を意味する。

## 活動目的

村を見守り支援が必要なコミュニティには手を差し伸べ、史跡や墓地の清掃、マングローブ域の整備、建物の建設などゲルサー地域での力仕事を行う。

## メンバーからの声 ヴィンス・ブライヨック代表

私たちは2022年1月にアイライ州のバイ（伝統的な集会所）の近くにディアングルと言う名で知られる若者のためのカヌーハウスを建設しました。ここでは、壊れたカヌーを修理したり、魚を捕る仕掛けや槍、竹製のいかだを作る作業をします。今後は規模を拡大し漁業にまつわるだけでなく、ストーリーボードというレリーフや、貝殻のアクセサリーなど手工芸品の制作もしたいと考えています。

2019年から2020年にかけて水路と海流開拓のため、マングローブを整備するプロジェクトを行いました。パラオはマングローブを保護しており、伐採を許可制とする法律を制定したので容易に

伐採できないのが現状です。しかし、マングローブエリアを整備することで、同時に砂地の復興にも役に立ちます。パラオ語には「ルゲル・ア・クレンガー」と言う言葉があり、これは「生命の巣」を意味します。砂底はまさにこの言葉どおり、ナマコ、貝、魚、サメなど多くの種が生息している場所です。そのため、わたしは、マングローブの伐採を禁止して保護するのではなく管理することが大切だと考えています。また、伐採したマングローブは材木や料理用の「炭」など資源として活用もでき無駄にはなりません。

また、2005年にゲルサー地域のすぐそばにあるバイや棧橋の修復や建設、維持などを行い、歴史的にも重要なストーンマナーに続くトレイルを整備し一般公開できるようにしました。現在は、道端のゴミ拾いや、海岸や水中のゴミの清掃・回収も行い、私達の村の陸地と海両方の美化に勤めています。私達の村だけでなく、アイライ州にあるその他の5つの村に存在する協会と話し合い、協力して、州全体を美しく衛生的に保つことを計画しています。

このように様々な進行中のプロジェクトがありますが、資金不足により遂行することが難しいことも現状です。私達はこの地域を心から愛しており、守り続けたいという一心で活動しています。私達はより強固に団結し、コミュニティへの支援を続けていきます。

## Contact Information

☎ (680)-775-6829